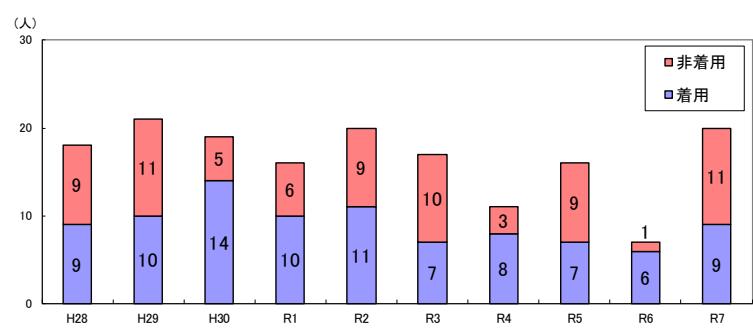


自動車乗車中死者のシートベルト着用状況の推移 (10年間)

※ミニカー・特殊車を除く。着用不明は非着用を含む。



令和7年中の自動車乗車中死者 20人

着用 9人
非着用 11人

着用率 45.0%

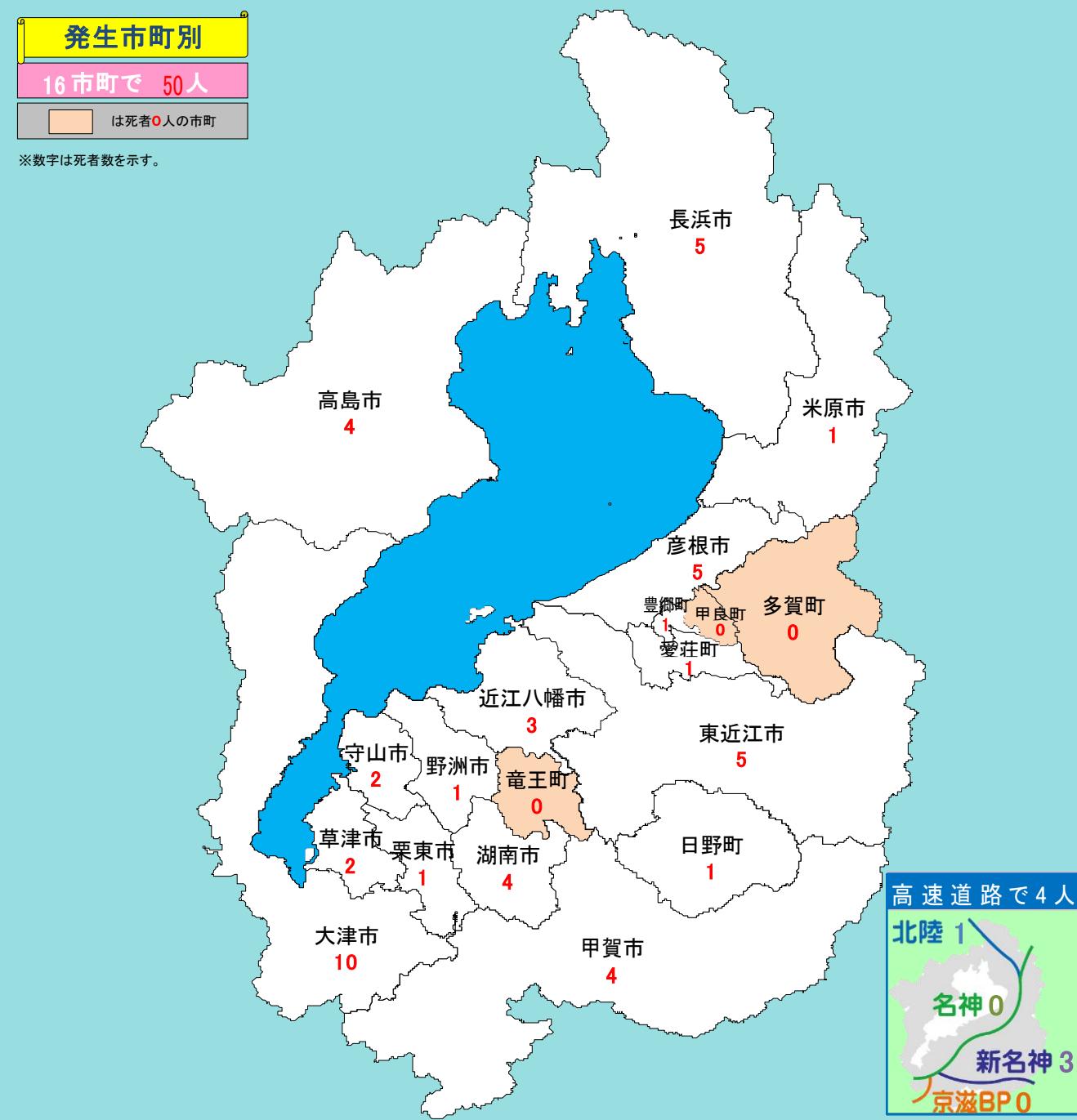
・自動車乗車中死者のシートベルト着用率は、前年と比べて減少した。
・非着用者11人の内、6人がシートベルトを着用していれば助かる可能性があった。

発生市町別

16市町で 50人

は死者0人の市町

※数字は死者数を示す。



死者の県内外別

県内者 43人 (79.6%)
県外者 11人 (20.4%)

令和7年中の交通事故

発生件数 2,782 件
(前年対比 -21件 -0.7%)

死者数 54 人
(前年対比 +26人 +92.9%)

負傷者数 3,361 人
(前年対比 -70人 -2.0%)

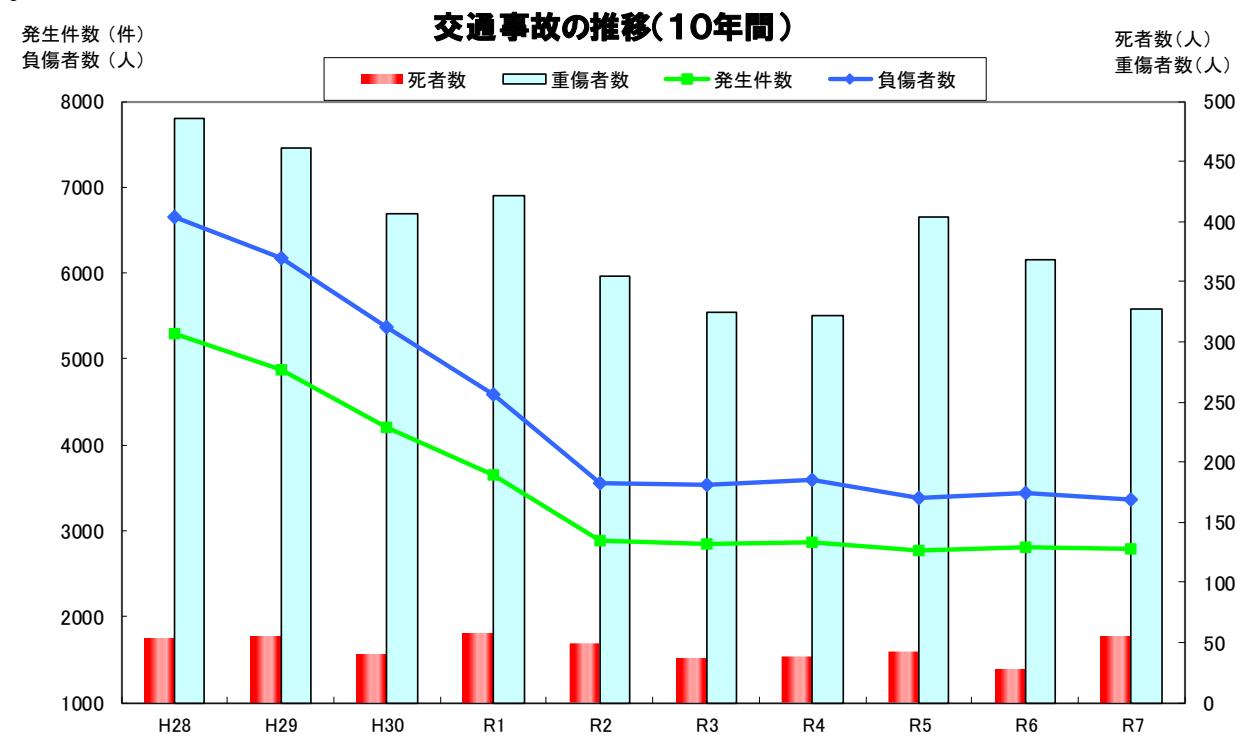
内、重傷者数 327 人
(前年対比 -41人 -11.1%)

1日平均の事故

発生件数 7.6件
死者数 0.1人
負傷者数 9.2人
内、重傷者数 0.9人

※重傷者数は負傷者数の内数

発生件数・負傷者数は減少、死者数54人は前年対比+26人とほぼ倍増



区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
発生件数	5,294	4,876	4,212	3,647	2,893	2,850	2,862	2,767	2,803	2,782
死者数	53	55	39	57	49	37	38	43	28	54
負傷者数	6,651	6,178	5,361	4,592	3,555	3,530	3,599	3,375	3,431	3,361
重傷者	486	461	406	421	354	325	322	404	368	327

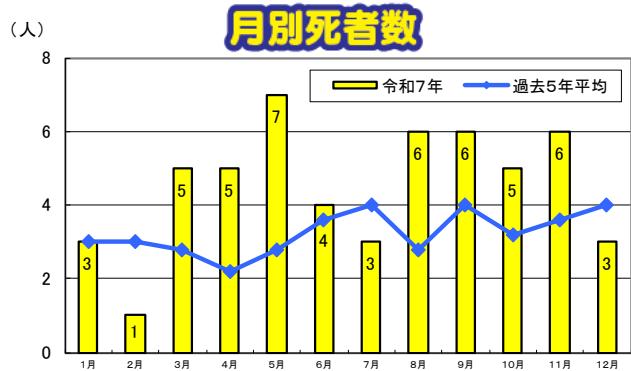
令和8年度 滋賀県交通安全スローガン **先どうぞ 近江の道の あたたかさ**

滋賀県警察本部

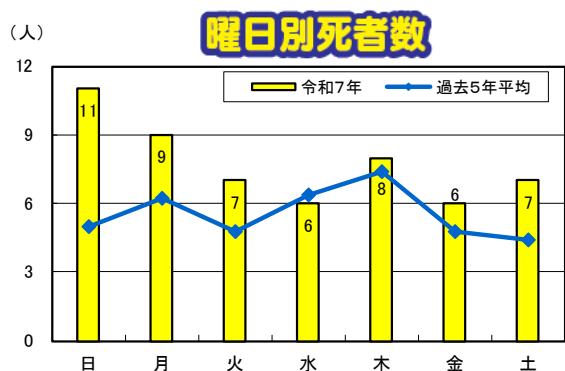
死亡事故の分析

～発生 52 件、死者 54 人～

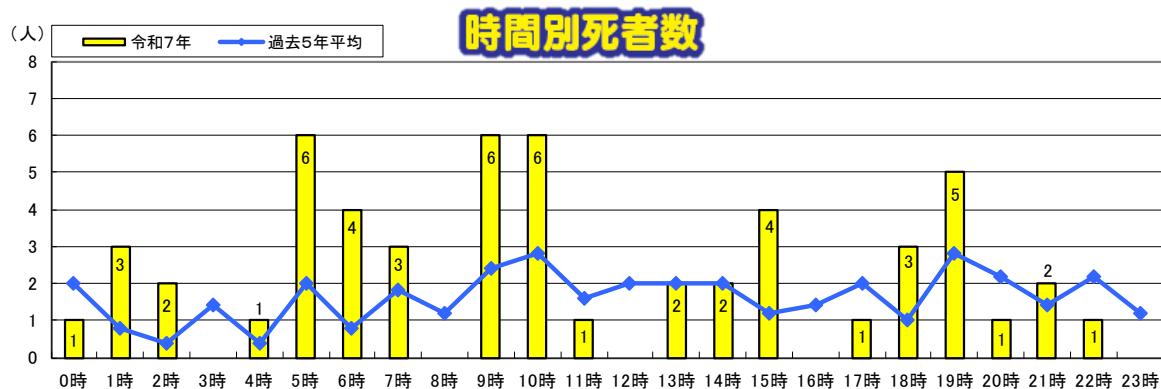
※死者とは、交通事故発生から24時間以内に死亡した人をいう。
 ※過去5年平均とは、令和2年から6年の平均人数をいう。



5月の死者数が7人で最も多く、2月が1人で最も少ない。

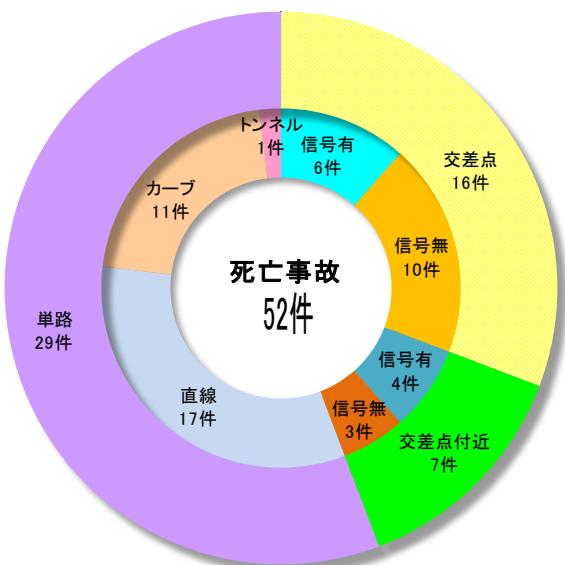


日曜日の死者数が11人で最も多い。
過去5年平均では木曜日が7.4人で最も多い。



5・9・10時台の死者数が各6人で最も多く、過去5年平均では10・19時台が2.8人で最も多い。

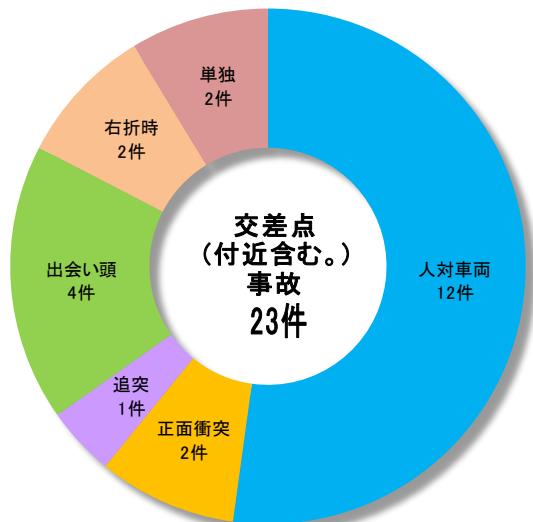
道路形状別件数



単路では直線道路での発生が最も多い。
交差点(付近含む)が40%以上を占める。

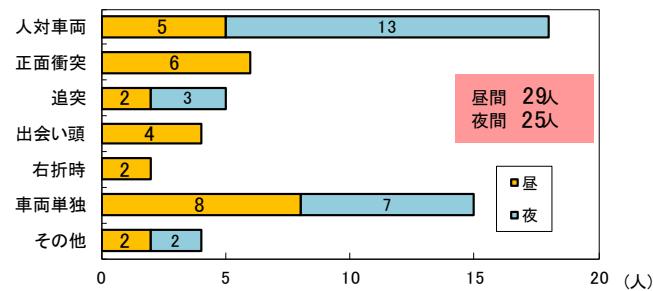
交差点事故の類型別件数

※ 交差点付近含む。
交差点付近とは交差点からおおむね30メートル以内をいう。



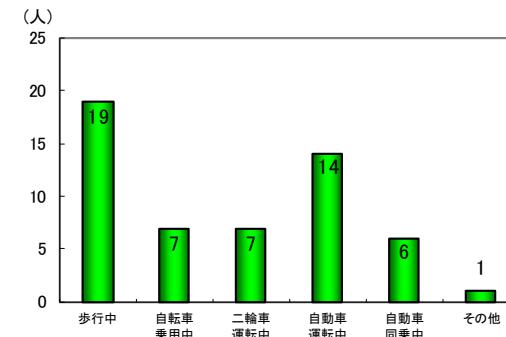
人対車両と出会い頭で約7割を占める。

昼夜別事故類型別死者数



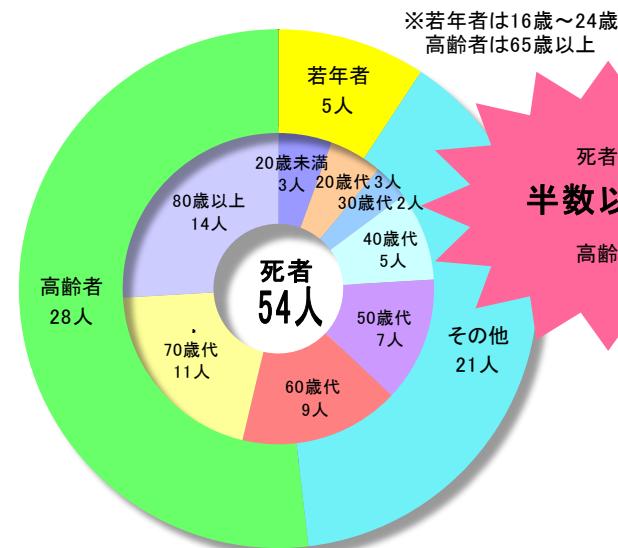
人対車両による死者が18人で最も多い。
人対車両による死者18人のうち、13人が夜間に発生

状態別死者数



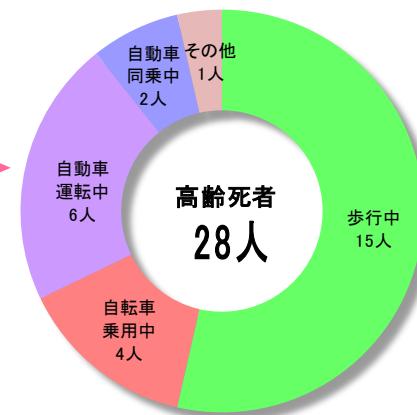
歩行中の死者が19人(15人が高齢死者)で最も多い。

年齢層別死者数



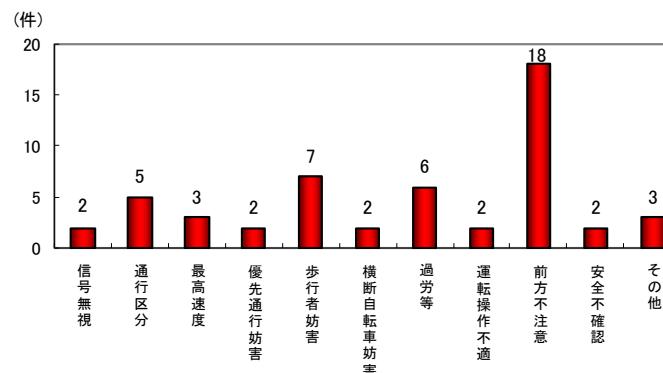
死者の
半数以上が
高齢者

高齢死者の状態別



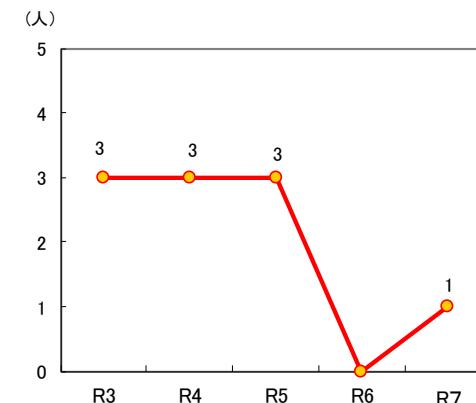
歩行中の死者が15人と最も多く、半数以上を占める。

第1当事者の違反別件数



前方不注意による事故が最も多い。
次いで、歩行者妨害等が多い。

飲酒運転による事故の死者数の推移



令和5年までは横ばい傾向。6年の死者はなかったが、7年は1人で増加した。